

■1 期計画の進捗状況

行政系施設：市庁舎

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 中心拠点を形成する機能として他の施設との複合化を検討します。 ・ 当初 10 年間は、計画的な改修工事を実施し、施設の長寿命化に取り組みます。また、市民ニーズに合わせた市庁舎のあり方を検討します。
実施計画	・ 中心拠点複合施設としての建て替え等を検討し計画を策定する。
実施手法	複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 庁舎のあり方検討会プロジェクトチームを設置し、建替え等市庁舎について複合化も含め、検討を実施した。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

行政系施設：分団車庫

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 現在の機能を維持します。
実施計画	・ 計画的な保全を図り、機能を維持する。
実施手法	－

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 機能は維持し、軽微な不具合等の修繕は状況に応じて検討している。 ・ 西信達消防分団車庫は令和 8 年度中に建替・移転を予定。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

行政系施設：市民交流センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・他の施設との複合化を検討します。 ・当初 10 年間は、現在貸し出している部分についての賃料徴収等有効活用を検討します。
実施計画	・青少年センターの一部の機能を受け入れる。 ・隣保館機能の今後のあり方を検討し計画を策定する。
実施手法	統合、複合化



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・青少年センターの一部機能を受け入れ済み。 ・今後のあり方を検討し、令和 8 年度までに計画を策定予定。庁外関係団体とはあり方検討をしているが、庁内での検討は未実施となっている。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

行政系施設：双子川浄苑

1 期計画での方向性	
基本計画	・機能移転の可能性を検討します。 ・当初 10 年間で、外部委託できるよう具体的な協議を行います。
実施計画	・大規模改修の必要があり、機能移転など今後の方向性を早期に決定し計画を策定する。
実施手法	機能移転



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・施設整備計画基本構想を策定するとともに、老朽化が著しい現有施設の機能維持の整備と市単独での建替えのための地域計画及び調査を行った。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

行政系施設：清掃庁舎

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 清掃業務の合理化に伴い、規模縮小を検討します。
実施計画	・ 大規模改修の必要があり、今後の方向性を早期に決定し実施する。
実施手法	規模縮小



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 今後の方向性を早期に決定するため、検討を継続している。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

行政系施設：樽井防災コミュニティセンター

1 期計画での方向性	
基本計画	－
実施計画	・ 定期の設備点検を実施し、必要に応じ修繕等の保全措置を行う。
実施手法	－



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 令和 8 年度中に修繕を予定している。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

学校教育施設：小学校、中学校

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 耐用年数を経過する老朽化施設について、児童生徒数の推移に従い、計画的な再編統合を進めます。 ・ その過程で余剰教室が確保できるのであれば、集会所機能を補完するものとして積極的に活用します。 ・ また、その際には、これからの学校及び学校を中心とする生活拠点のあり方についても市民とともに併せて検討し、施設の所在する生活拠点の再編を検討します。
実施計画	・ 小中学校の再編方針に沿った施設整備のあり方を検討し計画を実施する。 ・ 建て替え等が必要な時期が到来するが、小中学校の再編方針が明らかになったところで、それらを踏まえ検討する。 ・ 泉南中学校については、青少年センターの一部の機能を受け入れつつ、立替を実施する。
実施手法	統廃合、複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 住民説明会、保護者地域児童アンケートにより意見徴取を実施。 ・ 泉南市教育問題審議会にて泉南市小中学校学校再編計画の審議を行い、複数案から最終案を決定した。 ・ 令和 5 年 3 月に泉南市小中学校学校再編計画を策定した。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

学校教育施設：給食センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 「広域施設」としての機能維持若しくは民間活用に向け、あらゆる可能性について検討します。 ・ 当初 10 年間は、関係機関と調整し可能性を検討します。
実施計画	・ PFI 事業方式を活用した建て替えなどを含め早急に検討し、その結果を実施する。
実施手法	広域化、民間活用(民営化)

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 民間調理場の活用により令和 7 年 7 月に閉鎖。給食提供方法の検討を重ね、令和 7 年 9 月より小学校給食の食缶デリバリー方式を開始。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

子育て支援施設：認定こども園、幼稚園、保育所

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 保育所の民営化を検討します。 ・ 幼稚園は他の施設との複合化を検討します。 ・ 当初 10 年間は、保育所については、指定管理から民営化と順次移行を検討します。
実施計画	・ 周辺の公共施設と一体活用、地域・民間での有効活用、処分等を検討実施する。 ・ 令和 3 年度は施設の複合化や集約化の検討の対象となる関係各課と今後の施設のあり方に関する基本方針及び計画の策定に向けて協議を行う。 ・ 浜保育所は、民営化を基本としながら、今後の保育ニーズの動向を見極め、他の施設の統合、または廃止も含めた検討を行っていく。
実施手法	民間活用(民営化)、複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 公立幼稚園 2 園(あおぞら幼稚園・くすのき幼稚園)のあり方を検討した。 ・ 施設の修繕を行いながら、複合化や集約化を検討している。 ・ (旧)浜保育所は民営化を実現し、令和 7 年度中に除去完了予定。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

子育て支援施設：青少年センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 他施設への機能移転を行います。 ・ 当初 10 年間は、小学校の空き教室や他施設での事業展開を検討します。
実施計画	・ 老朽化が著しいため、児童館機能を人権ふれあいセンターに移転する等により、施設を除却するとともに跡地活用等を検討し計画を策定する。
実施手法	機能移転

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 平成 31 年度より児童館機能を市民交流センター内に移転し、適切な維持管理を実施している。用地は令和 6 年 3 月 1 日に移管済み。 ・ 令和 3 年度にアスベスト含有調査、除却に係る実施設計等必要な委託完了済み。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

子育て支援施設：子ども総合支援センター

1 期計画での方向性	
基本計画	－
実施計画	・施設の複合化や集約化の検討の対象となる関係各課と今後の施設のあり方に関する基本方針及び計画の策定に向けて協議を行う。
実施手法	－



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・施設の修繕を行いながら、複合化や集約化を検討している。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

保健・福祉施設：保健センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・他の施設との複合化を検討します。 ・当初 10 年間で、具体的な方向性を示します。
実施計画	・中心拠点としての課題を検討し、その結果を踏まえつつ、民間活力の活用等により、保健センター機能を他施設へ移転等により集約化、跡地の民間活用等を検討し計画を策定する。
実施手法	複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・利用者の利便性、関係部署との連携、施設に係る維持経費等に係る効果を勘案し、施設の複合化や集約化に係る関係課等と意見交換・協議を行ったが、設置場所や集約できる機能等を具体化できなかったことから、今後の施設のあり方に関する基本方針及び計画の策定には至っていない。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

保健・福祉施設：総合福祉センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・中心拠点を形成する機能として他の施設との複合化を検討します。 ・当初 10 年間は、民間活用及びテナント化を検討します。
実施計画	・中心拠点としての課題を検討し、その結果を踏まえつつ、民間活力の活用等により、総合福祉センター機能のあり方、他施設機能との複合化等を検討し計画を策定する。
実施手法	複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ESCO 事業に係る工事を行い、省エネルギー化を実現。 ・さらなる施設の賑わい創出のため、高齢者、障害者、ひとり親のための施設に留まらず、家庭支援課と連携して、乳幼児の遊びの広場を開設し、福祉施設と子どもの居場所を複合化した。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

1 期計画での方向性	
基本計画	・隣接する集会場等の統合や地元への譲渡を促すとともに、民間への機能移転について市場調査を進めながら検討します。 ・段階的な措置として、小・中学校の空き教室や公民館などに一時的に代替機能を求めます。 ・当初 10 年間は、区・自治会のニーズ及び意向調査、並びに民間譲渡への可能性調査を進めます。
実施計画	・各施設の活用可能性について、地域住民や民間事業者との対話を進める。 ・協議のうえ、必要とする施設に近接する施設の整理を進めるとともに、学校等既存施設の空きスペースを活用し、従来ニーズの維持に努める。また、必要な施設の修繕等を実施する。 ・利用利便性を向上させるため、必要に応じて条例等の改正（廃止含む）等を行う。 ・中心・生活拠点の対象となる施設は、その中での役割について検討する。
実施手法	統廃合、複合化、機能移転

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・各区長さんとの懇談会を実施し、施設の地元への譲渡に向けての意見交換を行い、施設の必要性を確認した。 ・仮に施設を地元に譲渡する場合、施設の管理費用、地縁団体の設立、施設の管理について、避難所及び投票所としての取り扱いなど、施設毎に様々な課題があり、個別に対応していく必要がある。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

市民文化系施設：集会施設

1 期計画での方向性	
基本計画	・隣接する集会場等の統合や地元への譲渡を促すとともに、民間への機能移転について市場調査を進めながら検討します。 ・段階的な措置として、小・中学校の空き教室や公民館などに一時的に代替機能を求めます。 ・当初 10 年間は、区・自治会のニーズ及び意向調査、並びに民間譲渡への可能性調査を進めます。
実施計画	・各施設の活用について、移譲を前提に地域住民等との対話を進める。 ・中心拠点、生活拠点の対象となる施設については、その中での役割について検討する。
実施手法	統廃合、複合化、機能移転

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・その他集会所等は、自治会等で利用、修繕、維持管理されている建物であり、市が権限を有しておらず、他施設との再編は難しい。 ・施設の利用実態としては、利用人数等を年 2 回調査している。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

市民文化系施設：公民館

1 期計画での方向性	
基本計画	・必要に応じて集会所等の周辺機能を集約し、複合化を進め、拠点化を図ります。 ・公民館機能は維持しますが、民間への機能移転も含めてサービスの提供方法を継続的に検討します。 ・当初 10 年間は、公民館は現状で維持しつつ、拠点化に向け周辺市有地の有効活用を含むあらゆる可能性を検討します。
実施計画	・生活拠点施設としての役割を検討しつつ、機能の維持については、近接公共施設、市有地の活用や民間の資本やノウハウを活用した整備を検討するとともに、行政窓口機能の導入や駐車場等の確保も併せて検討する。
実施手法	複合化、機能移転

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・令和 6 年度に施設調査を行ったものの、施設の在り方についての方針も検討中であるため、令和 8 年度以降に施設調査の結果を踏まえて方針を再検討する。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

市民文化系施設：文化ホール

1 期計画での方向性	
基本計画	・現状に見合う市民のニーズを模索し、より利便性が高まるよう運営を見直し集客力の強化を図りながら、併せて近隣自治体との役割分担を含む「広域施設」としての可能性を検討します。 ・当初 10 年間は、施設内空きスペースにテナント募集するなど有効活用を積極的に実施し、維持管理経費の確保に努めます。
実施計画	・中心拠点としての課題を検討し、その結果を踏まえつつ、文化ホール機能について隣接自治体等との役割分担を含めた広域連携を検討し、計画を策定する。 ・展示室やリハーサル室、ロビー等の貸し出しなど、ホール機能以外の施設の有効活用を図る。
実施手法	広域化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・近隣自治体ホールの共同利用等の連携検討を行ったが、その検討の際には実現が困難であると判断し、今後 10 年程度は現状のまま開館するとした。 ・広域連携等について今後行われる泉州南未来像研究会公共施設の在り方検討部会等の議論も踏まえ、令和 8 年度以降に再検討する。 ・指定管理者により、市内外の団体と連携して展示室やリハーサル室、ロビー、中庭等ホール機能以外の施設の有効活用が図られている。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

社会教育系施設：図書館

1 期計画での方向性	
基本計画	・より利便性が高まるよう運営を見直し、これからの図書館のあり方について、市民とともに考えます。 ・当初 10 年間は、学校図書室等類似機能との共有化ネットワーク化、他機能との複合化など、これからの時代の図書館機能を検討します。
実施計画	・中心拠点としての課題を検討し、その結果を踏まえつつ、将来の図書館形態を検討し計画を策定する。
実施手法	複合化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・令和 6 年度に施設調査を行ったものの施設の在り方についての方針も検討中である。 ・併設されている文化ホールと同様に、今後約 10 年間は現状を維持する。 ・将来への図書館形態検討は十分行うことは出来なかったが、広域連携等について今後行われる泉州南未来像研究会公共施設のあり方検討部会等の議論や施設調査結果を踏まえ、令和 8 年度以降に検討する。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

社会教育系施設：埋蔵文化財センター

1 期計画での方向性	
基本計画	・他の同種機能との連携を含む「広域施設」の可能性を検討するとともに、並行して収蔵物の移転も検討し用途変更の可能性を検討します。 ・当初 10 年間は、閉館日も含め、常設的に民間に有償で貸し付けるなど収入増に努めます。
実施計画	・土日開館の実現、スペースを利用した有効活用を検討、実施する。
実施手法	広域化、用途変更

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・毎月第 2、第 4 土曜日に臨時開館を行っている。テラスを一部、会議・打ち合わせスペース利用や展示利用を行い、スペースを活用した取組を実施している。 ・文化財事務の広域連携に伴い、当センターを業務拠点とすることを引き続き検討する。また、市民活動拠点として市民団体の講座利用や、社会教育団体の活動拠点としての利用や区長会の会場や教職員の研修会場等、市庁舎としての活用も実施している。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

スポーツ・レクリエーション系施設：市民体育館、テニスコート、市民球場

1 期計画での方向性	
基本計画	・必要規模やサービスの提供の仕方を検討し府市連携の「広域施設」の可能性を検討します。 ・当初 10 年間は、市民体育館は規模縮小、または他の施設との統合の可能性について検討を進めます。双子川テニスコートについては、老朽化したクラブハウスの除却を検討します。市民球場については、部分改修による長寿命化を図ります。
実施計画	・必要な修繕を実施し、安全な利用を確保する。 ・市内社会体育施設全体の中で、その必要規模や場所、サービスの提供のあり方等を検討し計画を策定、実施する。
実施手法	統廃合、広域化

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・施設照明の LED 化等必要な修繕を実施している。 ・指定管理者と連携し、サービス提供のあり方等について継続して検討していく。 ・施設の機能を維持したうえで、施設及び敷地の活用可能性について継続してサウンディング調査を実施していく。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

スポーツ・レクリエーション系施設：青少年の森

1 期計画での方向性	
基本計画	・その機能の必要性を見直し、廃止もしくは民間活用を含めてあらゆる可能性を検討します。 ・当初 10 年間は、現状で施設を維持しつつ早急に検討を進めます。
実施計画	—
実施手法	統廃合、民間活用(民営化)

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・不具合箇所を修繕すると同時に、府所有施設の今後の取扱いについて協議を実施した。 ・府所有施設の野鳥観察施設、大屋根は、撤去を予定している。 ・地権者と今後の活用について協議を実施している。施設機能を維持しながら、民間活用を検討し、地権者と今後のあり方について協議を継続する。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

スポーツ・レクリエーション系施設：総合交流拠点

1 期計画での方向性	
基本計画	・現在の機能を維持・強化しつつ、周辺地域の開発動向などを見守り、新たな動きへの対応に備えます。
実施計画	・りんくう公園整備全体の中で、その必要規模や場所、サービス提供のあり方等を検討、実施する。
実施手法	－



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・サウンディング型市場調査を実施し、今後の施設運営について検討した。 ・泉南りんくう公園内公園施設管理事業者選定に係る公募型プロポーザルを実施したが、選定基準を満たす事業者がおらず選定には至らなかった。 ・当施設の運営方針について再度検討する期間が必要であるため、従前からの指定管理による運営を継続するにあたり指定候補者の公募を実施し、指定管理者の選定を行った。（指定管理期間は令和 8 年度～10 年度。）



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：市営住宅(公営住宅)

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 府市で連携して、民間活用も含めた今後のあり方について検討します。
実施計画	・ 安全性の確保の検討を行うとともに、民間の資本やノウハウを活用することも検討する。 ・ 長山団地住宅の廃止を検討する。
実施手法	民間活用

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 広域連携による公共施設（公営住宅）マネジメント事業により、検討中である。 ・ 長山団地住宅の廃止に向けて、住民アンケートを実施した。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：農業公園及び公園内に設置された管理棟など

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 民間活用の可能性について、検討します。 ・ 都市公園全体のあり方について、検討を継続します。 ・ りんくう南浜 2 号公園にある管理棟については、市営都市公園（仮称）りんくう公園開設に伴い、民間活力も活用し一体的な都市公園の管理を検討します。
実施計画	・ 民間活力の活用による管理・運営を検討、実施する。 ・ 泉南りんくう公園整備全体の中で、サービス提供のあり方等を検討、実施する。
実施手法	統廃合、民間活用(民営化)

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 民間活力の活用として共同発注を実施した。包括管理については検討中である。 ・ 公園整備にあたり、サービス提供のあり方を検討し、提案可能な整備エリアとして事業者を募ったが、提案はなかった。 ・ 泉南りんくう公園として一体的な施設の民営化の検討を行った。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：現行火葬場

1 期計画での方向性	
基本計画	・新火葬場の運用開始後、撤去を進めます。
実施計画	・阪南市との共立による新施設運用開始後、撤去する。
実施手法	コスト縮減・除却



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・令和 3、4 年度に除却は終了している



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：共同浴場

1 期計画での方向性	
基本計画	・市営住宅と併せて、機能としての必要性を検討します。 ・当初 10 年間は、市営住宅の動向を見ながら検討します。
実施計画	・周辺の公共施設と一体的活用、地域・民間での有効活用、処分等を検討、実施する
実施手法	統廃合



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・令和 5 年度廃止、令和 7 年度除却



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：留守家庭児童会

1 期計画での方向性	
基本計画	・ 小学校との複合化を検討します。 ・ 小学校建替え時に必要面積（部屋）の確保を検討します。 ・ 当初 10 年間では、児童数減により学校に空き教室が発生した場合は、空き教室を改造して活用することを検討します。
実施計画	・ 小・中学校の再編方針が明らかになったところで、それを踏まえ学校施設との複合化を検討、実施する。
実施手法	複合化



1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・ 小中学校再編計画に沿った施設整備を検討し児童会開設の準備を進めている。 ・ 今後も小中学校再編計画に沿って計画的に再編統合を進めていく。



2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

公営住宅、公園、その他：現行行政目的を有していない施設

1 期計画での方向性	
基本計画	・使っていない施設の処分を含む有効活用を計画的に進めます。
実施計画	・周辺の公共施設と一体活用、地域・民間での有効活用、処分等を検討実施する。 ・防災拠点として地域・民間での有効活用等を検討し計画を策定、実施する。
実施手法	廃止・転用

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	(共同浴場(寿湯)) ・令和 5 年度に廃止、令和 7 年度に除却。 (鳴滝幼稚園) ・令和 8 年度に建物除却を予定。今後、地域・民間での有効活用や処分等を検討が必要。 (樽井みずほ団地污水处理施設) ・施設が老朽化しており、地域・民間での有効活用、処分等の検討にあたり除却が必要。 ・倒壊のおそれがあり、民間活用等の有効な手段が取れない。 (砂川污水处理施設、いずみ台污水处理施設、サングリーン污水处理施設) ・いずみ台は防災会として敷地活用しているが、他の施設は倒壊のおそれがあり、安全な空間がないため容易に活用できない。 (鳴滝第一小学校) ・令和 7 年度、令和 8 年度の 2 か年計画で、学校解体工事を行う。 (雄信幼稚園) ・活用方法の検討、活用事業者募集等を行ったが活用には至っていない。今後は処分に向け検討する。 (新家幼稚園) ・活用方法の検討、令和 4 年度から民間による施設の活用を実施している。 (市民第 2 プール) ・双子川浄苑建替に伴い除去を検討中である。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

インフラ資産：道路・橋りょう

1 期計画での方向性	
基本計画	・道路・橋りょうについては、国土交通省が進める「長寿命化修繕計画策定」の一環として、2012 年（平成 24 年）3 月に定めた「泉南市道路橋りょう修繕計画（長寿命化修繕計画策定編）」に基づき、本市が管理する今後老朽化する道路橋の増大に対応し、橋りょうの長寿命化並びに橋りょうの修繕及び架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、道路網の安全性・信頼性を確保するため、事後保全から予防保全へ施策の転換を進めます。
実施計画	・長寿命化計画策定マニュアル等を参照し、各担当部署において保全計画の策定、定期的点検・診断等の実施を行います。
実施手法	－

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・「下水道長寿命化支援制度」が「下水道ストックマネジメント支援制度」に変更されたことにより、「泉南市下水道ストックマネジメント計画」を策定した。 ・ストックマネジメント計画に基づいた施設の点検・調査を実施した。 ・大里川ポンプ場の水門設備について、更新工事を実施中である。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	

インフラ資産：下水道

1 期計画での方向性	
基本計画	・下水道については、2008 年度（平成 20 年度）に定めた「下水道長寿命化支援制度」に基づき、施設等の健全度に関する点検・調査を行い、その結果に基づき計画的な改修、改築を行います。また、2015 年（平成 27 年）3 月に定めた「中部ポンプ場長寿命化計画」により設備等のライフサイクルコストの最小化を図ります。
実施計画	・長寿命化計画策定マニュアル等を参照し、各担当部署において保全計画の策定、定期的点検・診断等の実施を行います。
実施手法	－

1 期計画の進捗状況	
進捗状況	・「橋梁長寿命化修繕計画」を策定。 ・計画に基づく橋梁修繕及び 5 年ごとの法定点検を実施している。

2 期計画での方向性 ※今後行う施設評価等に基づいて設定していく。	
方向性	
実施手法	